



Arcserve を、OFIX のデジタル 変革の一部として採用



OFIX は、各顧客のニーズに対応したマルチチャネル環境で、事務用品、文房具、消耗品、技術、家具を提供しています。

業 種：事務用品
社 名：OFIX 社
従業員数：800 名

課題

デジタル変革の実現と新しいビジネスチャンスの創出が OFIX 社の経営課題のひとつでした。

ソリューション

同社は、Arcserve Cloud Hybrid、Arcserve Appliance 8100、Arcserve Unified Data Protection (UDP) を選択しました。

効果

Arcserve を使用することで、リソースコストの削減と、情報の復旧とバックアップに必要な時間の短縮が実現できました。

ビジネス

OFIX 社は 25 年にわたり、各顧客のニーズにマッチするマルチチャネル環境を使用して、オフィス用品、文房具、消費財、テクノロジー、家具を提供しています。本社と 24 の支店、800 人の従業員で年間 8 億ペソの売上を上げています。今後数年間に OFIX が設定する目標は、あらゆる点で最大の収益性を達成することです。また、同社は小売と流通の両方で市場シェアを拡大し、地理的範囲を拡大していく予定です。

課題

デジタル変革の実現と新しいビジネスチャンスの創出

OFIX 社の IT 部門の主な目標は、同社が市場での存在感を維持し新しいビジネスチャンスを創出するために必要な変革を達成することです。当社のもうひとつの優先事項は、開発された各プロジェクトの投資収益率を最大化し、合理的な財務コストで効率的に企業運営を行うことでした。

以前はバックアップメディアを手動で処理しながら、Arcserve 以外バックアップソリューションを使用してテープを管理していました。また、独自の DBMS テクノロジーを使用したデータベースレプリケーションは、重要なサービスの緊急時対応が必要でした。

災害時のデータとシステムの高速リカバリが必須だった同社は、スナップショットストレージソリューションを使用して、迅速に使用できるリカバリポイントを用意しました。

ソリューション

OFIX 社は、すべての物理サーバと仮想サーバ、アプリケーションを保護するための高可用性ソリューションが必要でした。不測の事態に備えて、復旧プロセスの RPO と RTO を改善しながら、災害時に代替サイトで業務サービスを有効にすることでコアサービス用の高可用性を実現できるソリューションです。

これらのニーズに直面して、同社はツール選択プロセスを実行することを決定しました。ツール選択プロセスは、異なるベンダーの特性と機能の評価、異なるインフラストラクチャ全体のサポート、さらにコンセプトの 3 段階で構成されました。

これが、Arcserve Appliance 8100、Arcserve Unified Data Protection (UDP) を選択した方法です。

2017年7月から8月に Microsoft Windows と Linux プラットフォーム上に Arcserve Appliance 8100 と Arcserve UDP の導入・実装が行われました。VMware 仮想マシンと Oracle、MySQL データベースのバックアップ設定と Arcserve Cloud へのレプリケーション、ペアメタル復旧のリカバリテストなどが含まれていました。

加えて、Arcserve Replication & High Availability の導入と Arcserve Backup を使用したテープバックアップも実装されました。

「Arcserve ソリューションを使用する前は、データ復旧に 12 時間かかり、最大 24 時間分のトランザクションが失われたことがありました」と CTO の Elías Castellanos 氏は述べています。

効果

Arcserve ソリューションの導入により、リソースコストが削減でき、データ復旧とバックアップに必要な時間が短縮されました。

Elías Castellanos González 氏は、バックアップの自動化と障害発生時のサービスとデータの可用性確保が可能になっただけでなく、Arcserve はシンプルで管理しやすいソリューションであることも指摘しています。

現在、24 のサーバが Arcserve UDP で保護されています。また、Arcserve UDP Premium Plus で Oracle Business Suite、MySQL データベース、給与計算システム、コンテンツ管理などの重要なアプリケーションを保護しています。

Elías Castellanos 氏はさらに、「ソリューションを実装、維持するために Arcserve サポートが貢献しており、このソリューションは会社の期待に応えました」と述べています。

本資料は海外事例を翻訳したもので、日本国内でサポートしていない環境を含む場合があります。日本国内でサポートする環境の最新情報は以下の動作要件ページでご確認いただけます。

<https://support.arcserve.com/s/topic/0TO1J000000I5MxWAK?language=ja>

Copyright © 2019 Arcserve. All rights reserved. 参照するすべての登録商標、商標名、ゴロ等はそれぞれの所有者に帰属します。

本資料は、情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証（商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます（ただし、これに限定されません））も伴わずに、本資料を「現状有姿で」提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など（ただし、これに限定されません）、本資料に関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。